

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成27年 4月24日
【会社名】	株式会社大真空
【英訳名】	DAISHINKU CORP.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 長谷川 宗平
【本店の所在の場所】	兵庫県加古川市平岡町新在家字鴻野1389番地
【電話番号】	(079) 426-3211 (代表)
【事務連絡者氏名】	管理本部 財務部長 谷崎 敦司
【最寄りの連絡場所】	兵庫県加古川市平岡町新在家字鴻野1389番地
【電話番号】	(079) 426-3211 (代表)
【事務連絡者氏名】	管理本部 財務部長 谷崎 敦司
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【提出理由】

当社及び当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号及び第19号の規定に基づき、本報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

(1) 当該事象の発生年月日

平成27年3月31日

(2) 当該事象の内容

当社は、販売単価の下落や光学デバイスの販売低迷、海外生産工場における人件費上昇などの影響により、業績は厳しい状況が継続しております。このような状況の中、歩留り改善や生産性向上などの原価低減策を推進してまいりましたが、更なるコスト競争力の強化と利益体質への転換を実現するため抜本的な事業構造改革を行うこととなりました。これに伴い、平成27年3月期連結決算において事業構造改革費用を特別損失に計上することといたしました。また、個別決算において事業構造改革費用及び関係会社株式評価損を計上することといたしました。。

(3) 当該事象の連結損益に与える影響額

連結財務諸表

事業構造改革費用の計上(特別損失) 3,892百万円

個別財務諸表

事業構造改革費用の計上(特別損失) 2,026百万円

関係会社株式評価損の計上(特別損失) 4,363百万円

以 上